

萎凋で爽やかなスミレのような香りが際立つチャ新品種 「ゆめすみか」

[研究のねらい]

- ・静岡県の茶栽培面積のうち約90%を「やぶきた」が占めており、香味の画一化や摘採期の集中などが問題となっている。
- ・一方、消費者の嗜好が多様化しており、特に若い女性は花様の香りを好む傾向が見られる(図1)。
- ・当センターでは、若い女性の嗜好に合うスミレのような甘い香りを持つチャの新品種「ゆめすみか」を育成した。

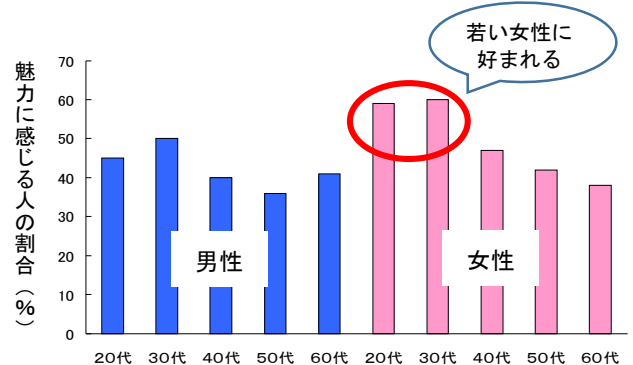


図1 花様の香りに対する嗜好※

※茶の開発コンセプトに対する評価

対象：静岡・東京1000人
方法：インターネット
新成長戦略研究調査(H23)

[研究の成果]

○「香駿」を凌ぐ『香り緑茶』適性

- ・「ゆめすみか」は、萎凋(香り緑茶製法)により「爽やかなスミレや甘いクリームのような香り」が際立ち、香氣+滋味の評価点は、香りが特長の品種「香駿」を上回る(図2)。
- ・甘い香りを呈する香氣の主要8成分量(合計)は、一番茶では「香駿」より約1.4倍多い(図3)。
- ・試飲した消費者・茶業関係者からは、「スミレやジャスミンに似た花の香り」「爽やか」などの感想があった(図4)。

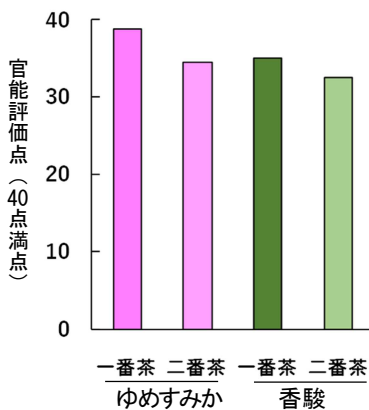


図2 香氣+滋味の官能評価点

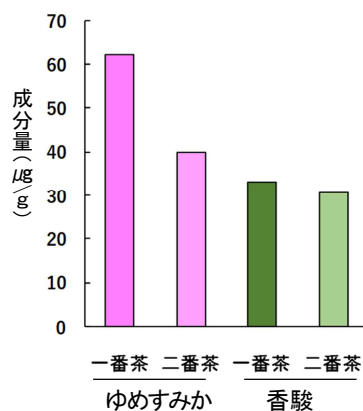


図3 香氣の主要8香氣成分量

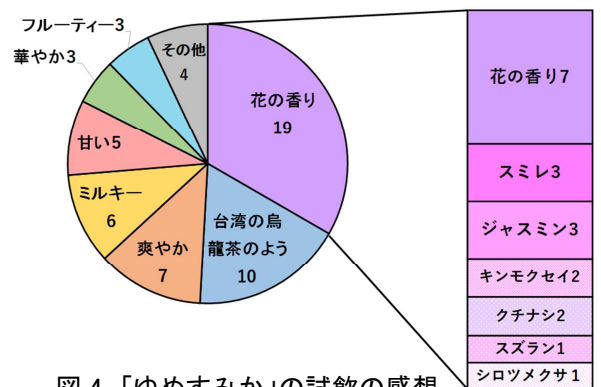


図4 「ゆめすみか」の試飲の感想

対象：オンラインセミナー(2023)受講者
人数：33人(複数回答あり)

○来歴及びその他特性

- ・交配：種子親♀「するがわせ」×花粉親♂「きょうみどり」
- ・早晩性：中生(一番茶摘採期「やぶきた」比±0日)
- ・樹姿：やや直立/樹勢：強
- ・耐寒性：赤枯れ『強』
- ・耐病性：炭疽病『やや弱』、赤焼病『やや弱』
- ・耐虫性：クワシロカイガラムシ『やや弱』
- ・収量性：成木『多』
- ・品質：ほのかな桜葉のような香り、花香(普通煎茶)



図5 「ゆめすみか」の一番茶